



ふく いん 福音とは？

「福音（ふくいん）」とは、一般に「喜ばしい知らせ」を意味する言葉です。実は、聖書には最も重要な教えを表わす言葉として、この「福音」という言葉が何度も使われてあります。

この冊子には、聖書が教える「福音」について、できるだけ簡単に説明してあります。私たちは、あなたがこの福音を理解してくださって、神様があなたに与えようとしてくださっている「最高に喜ばしい恵みである救い」をご自分のものとしてくださることを心から願っております。

『兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私があなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。
また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福音のことばをしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです。』

I コリント 15:1-2

1. 「真の神様」について…

本当の神様とは、どのような存在でしょうか？

2. 「聖書」について…

聖書とは、どのようなものなのでしょう？

3. あなたが造られた「目的」について…

あなたは、何のために生まれてきたのでしょうか？

4. あなたは「罪人」である！

私たち、すべての人間が抱えている問題

5. 神様からの「警告」

罪に対する裁きとは、どのようなものなのでしょう？

6. 私たち人間の「限界」

私たちは、自分自身の努力で救われるのでしょうか？

7. 神様からの「あわれみ」

イエス・キリストの十字架と復活

8. 恵みによる「救い」

神からの恵みのゆえに、信仰によって救われる！

9. 神の「選び」と「助け」

今、信仰を持つことに躊躇し、迷いを感じているあなたへ

1. 「真の神様」について…

本当の神様とは、どのような存在でしょうか？

⇒**本当の神様は、唯一！ただ、おひとりである！**

ここ日本には「八百万（やおよろず）の神」と言って、それこそ数えきれないほど多数の神々が存在しているように信じられています。しかし、それらは皆、本当に「神様」なののでしょうか？

実は、聖書が教えてくれている神様とは、私たちのことを含むすべてのものを造られた「創造主」のことを言います。果たして、これまで、あなたが拝み、祈りを捧げてきた存在は「本当の神様」でしょうか？

ひょっとしたら、あなたがこれまでに拝んできた神は、私たちと同じ人間や動物、あるいは、人間の手によって削り出された石や木の像などではなかったのでしょうか？本当に、それらは私たちが信じ仕えるべき「私たち人間以上の存在」なののでしょうか？

①創世記1:1、『初めに、神が天と地を創造した。』

②イザヤ書44:9-11、『偶像を造る者はみな、むなしい。

彼らの慕うものは何の役にも立たない。彼らの仕えるものは、見ることもできず、知ることもできない。彼らはただ恥を見るだけだ。だれが、いったい、何の役にも立たない神を造り、偶像を鋳たのだろうか。見よ。その信徒たちはみな、恥を見る。

それを細工した者が人間にすぎないからだ。

彼らはみな集まり、立つがよい。彼らはおののいて共に恥を見る。』

③Ⅰテモテ2:5、『神は唯一です。…（以下略）』

参照：創世記1章、イザヤ44:9-22、マルコ12:28-34、伝道者の書12章

真の神様は、あなたのことを他の動物たちとは異なる「特別な存在」としてお造りになりました。それは、神に似た霊的な存在としてです。それゆえ、あなたには、たとえ目には見えなくても、霊的な存在である神が存在することを理解することができるはずです。

もしも、あなたが真実を知らず、全く別のことを信じていたとしたら…、あるいは、もしも、あなたが真の創造主を知らずにいたとしたら、それは悲劇とは言えないでしょうか？

「この世界には、私のことを造ってくださった真の神様がおられる！」これは、あなたにとって、どうしても知らなければならない情報であり、福音ではないのでしょうか？

2. 「聖書」について…

聖書とは、どのようなものなのでしょう？

⇒聖書とは、真の神様が私たちに与えてくださった「神の言葉」である！

あなたには何か人に伝えたいことがありますか？それが愛する人であれば、なおさらです。真の神様は、あなたのことを愛し、あなたに今メッセージを送ってくださっています。それこそが「聖書のみことば」なのです。

聖書は特別な書物です。その異常に長い歴史（B.C.1500-A.D.100頃）も、その特異性（発行部数の圧倒的多さ）も、聖書が与えた影響の大きさ（民主主義、基本的人権、芸術など）も、それに預言の成就なども、それを裏付ける証拠であると言い得ます。

しかし、最大の特徴は、こんなにも古い書物が、今もなお、多くの人たちに大きな影響を与え続け、人々を変え続けていることです。聖書ほど偉大で、特別な書物を、あなたは他に挙げることができるでしょうか？

①Ⅱテモテ3:16、『聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。』

②Ⅱペテロ1:20-21、『それには何よりも次のことを知っていなければいけません。すなわち、聖書の預言はみな、人の私的解釈を施してはならない、ということです。なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。』

参照：詩篇19:7-14、詩篇119:1-11、イザヤ53章、ローマ10:8-15

聖書が神様からのおことばで、素晴らしいものであるということは、あなた自身が聖書を検証してみないと納得できないと思われます。しかし、そのためには、たったの1度や2度、教会でメッセージを聞いただけでは分かり得ません。どうぞ、続けて教会にお越しくださって、聖書の教えに対して真剣に耳を傾けてください。

もしも、あなたがこの聖書の教えをしっかりと理解することができたら、聖書のみことばは、あなたに素晴らしい喜びや祝福をもたらしてくれるでしょう。



3. あなたが造られた「目的」について…

あなたは、何のために生まれてきたのでしょうか？

⇒神は目的をもって、あなたを造られた！あなたの存在には意味がある！

あなたは、偶然によって生まれてきたではありません。あなたが生まれてきたのには意味があるのです！神様は、すべてのことを目的をもって、なしておられるのです。

あなたが造られた目的は、神様の栄光（＝素晴らしさ）を現わすためです。その神様は、すべてのことを御自身の栄光のためになしておられます。しかし、あなたは自分の人生を自分自身のものだとして勝手に勘違いして、自分自身のためにだけ生きてしまっていないでしょうか？

①詩篇100:3、『知れ。【主】こそ神。主が、私たちを造られた。
私たちは主のもの、主の民、その牧場の羊である。』

②イザヤ43:7、『わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光のために、わたしがこれを創造し、これを形造り、これを造った。』

③申命記6:4-5、『聞きなさい。イスラエル。【主】は私たちの神。
【主】はただひとりである。心を尽くし、精神を尽くし、力を
尽くして、あなたの神、【主】を愛しなさい。』

参照：創世記2章、申命記6:4-25、マタイ22:35-40、Ⅰコリント6:19-20

前述した通り、あなたに与えられた人生は、あなただけのものではありません。神は、あなたが神のみこころに沿って生き、神の栄光を現わしていかれることを願っておられるのです。

そのようなことを聞くと、あなたは「私の人生は私だけのものだ！神のためになんて生きたくない！」と思われるかも知れません。しかし、神のみこころに沿って生きないために、あなたには今、本当の満足も平安も無いのです。

自分の好き勝手に生きる人生が、必ずしも、私たちに本当の満足や幸福をもたらさないことは、あなた自身でご存知です。私たちの造り主である神様のみこころに沿って、あなたが生きるなら、神様があなたに本当の喜びや祝福を与えてくださるのです。



4. あなたは「罪人」である！

私たち、すべての人間が抱えている問題

⇒神の前に、すべての人間は皆、罪人である。もちろん、あなたも！

それは、あなたが生まれながらに造り主なる神様のことを無視し、あなたの生き方が神様のみこころに沿わず、反抗的であるからです。あなたは真の神様に従わず、自分の好きなように…、すなわち、自分の快楽や欲望、自分自身の考えや夢に従って生きておられます。残念ながら、それは「神のみこころ」ではありません。

- ①マルコ7:20-23、『人から出るもの、これが、人を汚すのです。内側から、すなわち、人の心から出て来るものは、悪い考え、不品行、盗み、殺人、姦淫、貪欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、そしり、高ぶり、愚かさであり、これらの悪はみな、内側から出て、人を汚すのです。』
- ②ローマ3:10-12、『義人はいない。ひとりもない。悟りのある人はいない。神を求める人はいない。すべての人が迷い出て、みな、ともに無益な者となった。善を行う人はいない。ひとりもない。』

参照：創世記3-4章、ヨハネ8:1-11、ローマ1:20-25、ローマ3:10-18

神様は愛と恵みに溢れた聖なる御方で、一切のみにくい部分がありません。それに対して、私たち人間は皆、傲慢で、自分勝手に、淫らで、罪深い存在です。私たちが心に抱えているみにくい部分のことを、聖書では「罪」と呼んでいます。それゆえ、この神様の前に、私たち人間は皆「罪人」なのです。

確かに、この事実は、あなたが知りたくもない「悲しい現実」かも知れません。しかし、いくら、あなたが現実から目をそらそうとしたところで、現実から逃れられはしません。大切なことは、まず、事実を追求して、そこから解決を見出すことではないでしょうか？

あなたは、ご自分が今のままで良いと思われませんか？
どうにかして自分のことを変えたい、とは思われませんか？



5. 神様からの「警告」

罪に対する裁きとは、どのようなものでしょう？

⇒私たちの造り主であられる神は、今、あなたに対して怒っておられる！

真の神様は、私たちのことをすべて御存知です。あなたが生まれてから死ぬまでに犯してきた様々な罪はもちろん、あなたが心の中で考えた、醜い考え、自分勝手な欲望、淫らな思いなどもすべて、神様は御存知です。

聖であり義なる神様は、必ず私たちの罪を裁かれます。それは、聖書に記されてある歴史を見ても、聖書の教えを見ても明らかです。神の裁きは公正で、いかなる小さな罪でさえも、決して見逃されることはないのです。

①ローマ1:18、『不義をもって真理をはばんでいる人々のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から啓示されている…』

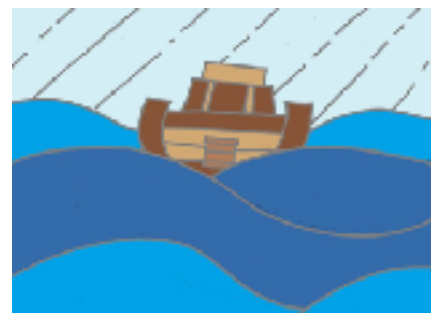
②マタイ25:46、『こうして、この人たちは永遠の刑罰に入り、正しい人たちは永遠のいのちに入るのです。』

③黙示録20:10-15（抜粋）、『そして、彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。…いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。』

参照：創世記6-9章、創世記13-19章、ルカ16:19-31、黙示録20章

その昔、神は全世界的な洪水をもって、多くの人たちを裁かれました。そして、その神は今、私たち人間の罪と頑なさのゆえに怒っておられます。…にも関わらず、私たちが裁かれないのは、神様が私たちに忍耐してくださっているからなのです。

また、神は今、警告を与えてくださっています。それは、言い換えると、「私たちには救いの道がある！」ということです。これこそ、神が私たち人間に聖書を書き送ってくださった理由なのです。



6. 私たち人間の「限界」

私たちは、自分自身の努力で救われるでしょうか？

⇒あなたは、自分自身の努力や善行では、救われ得ない！

神は、すべての罪を裁かれます。裁かれずに済む罪は、一つもありません。残念ながら、私たちは誰一人、神の怒りや裁きから逃れられる者はおりません。果たして、あなたは自分自身の努力や善行で、神の裁きから逃れられるとお思いでしょうか？

聖書には、ある模範的な存在として、アブラハムやパウロという人物が登場してきます。しかし、模範的であった彼らでさえ、その努力や行いではなく、真の神を信じる信仰によって救われました。

私たちが神の怒りから逃れ、自分自身の犯した罪の罰から赦されるためには、自分自身の罪を悔い改め、神のあわれみを請うしか方法は無いです。

①ローマ3:20、『なぜなら、律法を行うことによって、だれひとり神の前に義と認められないからです。律法によっては、かえって罪の意識が生じるのです。』

②エペソ2:8-9、『あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。』

参照：ルカ18:9-14、ルカ15章、ルカ16:19-31、マタイ19:16-30

聖書が教える「悔い改め」とは、
「それまでの自分の生き方を深く後悔して、
真の神様を信じて、その神様を信頼して歩いていくこと」
を言います。あなたは、あなた自身の努力で自らを
大きく（＝根本的に）変えられないことを、ご存知のはずです。



しかし、神にとっては、そうではありません。真の神様は、
罪に汚れたあなたのことを、大きく（＝根本的に）変えることが御出来になる
のです。

7. 神様からの「あわれみ」

イエス・キリストの十字架と復活

⇒イエス様は、本来、あなたが受けるべき罰を身代わりに受けてくださった！

私たちが何か悪いことをすると、為政者によって裁かれて、何らかの罰を与えられます。それと同様に、聖く正しい存在である神は、あなたが犯した罪を裁かないわけにはいきません。

そのため、神は旧約時代から約束してくださっていた救い主を、この地上に遣わして、あなたの身代わりとしてくださいました。それこそがイエス・キリスト（＝メシヤ、救い主の意味）なのです。

① マタイ16:21、『その時から、イエス・キリストは、ご自分がエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえらなければならないことを弟子たちに示し始められた。』

② I ペテロ3:18、『キリストも一度罪のために死なれました。正しい方が悪い人々の身代わりとなったのです。それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、私たちを神のみもとに導くためでした。』

参照：創世記22:1-14、ルカ23:32-48、マタイ27章、ヨハネ19-20章

上記の参照箇所ルカ23章に記されてあるように、イエス様はご自分を殺そうとされた者たちの赦しを願ってくださいました。それは、イエス様が、人々の赦しのために、ご自分のいのちを捨てられたからに他なりません。



当時、イエス様のことを裁いた総督ピラトは、イエス・キリストに何の罪も無いことを知っていたので、そのイエス様が一切、ご自分のことを弁解なさらないのを見て、不思議に思いました。しかし、イエス様が十字架にかかって、罪ある者として裁かれることは、神の御計画として、永遠の昔から定められていたのです。

イエス・キリストは、あなたの身代わりとして、あの十字架上で苦しみを受けてくださり、あなたの代わりに死んでくださったのです！

8. 恵みによる「救い」

神からの恵みのゆえに、信仰によって救われる！

⇒あなたが救われるべき道は、救い主であるイエス様を信じる以外に無い！

イエス・キリストが旧約聖書の預言通り、今から約2000年前、十字架で死んでくださったことは「歴史的事実」です。しかし、そのことと現代に生きる私たちとに何の係わりがあるのでしょうか？

確かに、もしも、あなたが、このイエス・キリストのことを拒み続けるなら、あなたとイエス様との間には何の関係ありません。しかし、もし、あなたがイエス様のことを、ご自分の神であり、私の救い主と信じ受け入れるなら、あなたとイエス様とは決して無関係ではありません。

①ヨハネ3:16、『神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。』

②マタイ7:21-22、『わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって奇蹟をたくさん行ったではありませんか。』

参照：マタイ7:13-27、ヨハネ8:30-47、ヤコブ2:14-26、ガラテヤ5章

「イエス様を信じる」とは「イエス様の教えを信じ受け入れて、その教えに従って歩いていく！＝イエス様に従っていく！」というのと同義です。そのように、イエス・キリストのことを、自分の主として迎え入れた者と、イエス様とは決して無関係ではありません！イエス様を信じた信仰者は、イエス・キリストと一体とされたのです（ローマ6:3-9）。

イエス様を信じた者は、もはや、
「罪の奴隷」ではなく、罪はその信仰者の
ことを支配しません。その者は、罪に勝利する
という「新しい歩み」ができるのです！



9. 神の「選び」と「助け」

今、信仰を持つことに躊躇し、迷いを感じておられるあなたへ…

⇒救われる者は、神があらかじめ選び、また成長させてくださる！

ここまで、この冊子では聖書が教えてくれている「福音」について説明してきました。福音とは「神が、あなたのために用意してくださった救いの方法」であると言えます。ここでは神様があなたのためにしてくださった（あるいは、してくださる）ことについてご説明させていただきます。

- ①エペソ1:4-5、『すなわち、神は私たちが世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。神は、みむねとみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。』
- ②Ⅱコリント3:18、『私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。』

参照：エペソ2:1-10、ヨハネ3章、ヨハネ10:25-29、ピリピ3:17-21

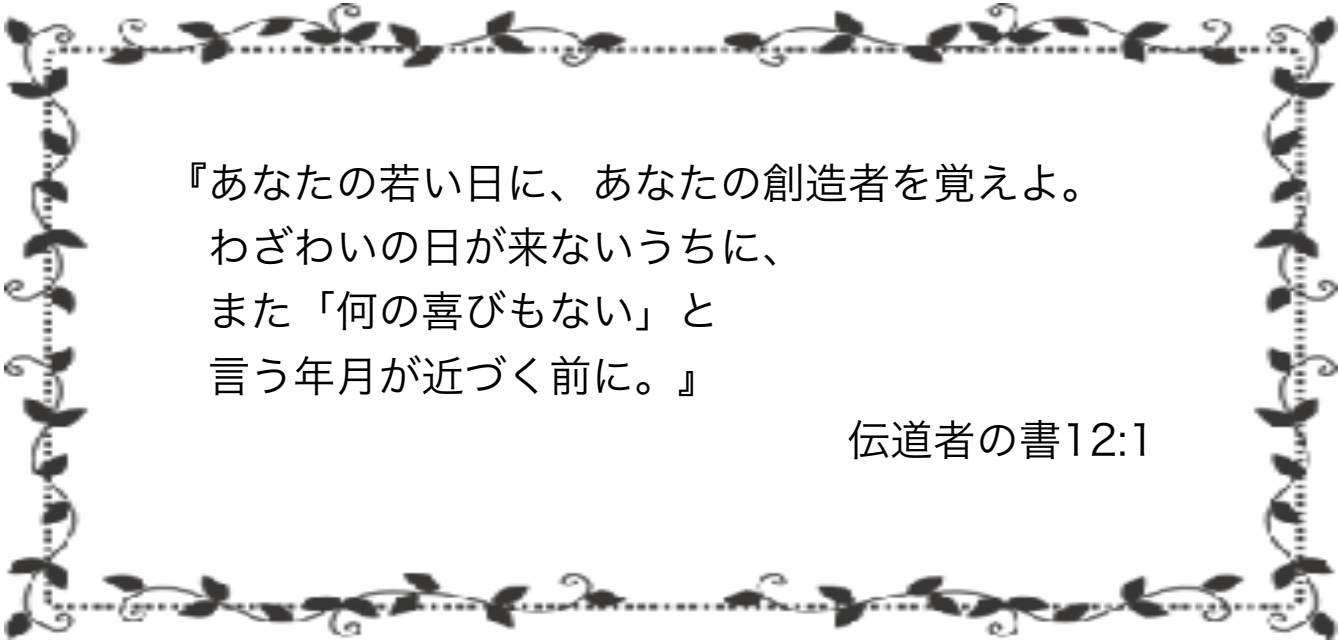
救いとは、初めから完成まで神様の恵みなのであり、100%、神様の働きによるものです。だから心配するには及びません。すべてを創造された全知全能なる神様があなたのことを導き、助けてくださるのです。

ですから、どうか、あなたの罪を悔い改め、あなたの犯した罪の身代わりに、あの十字架にかかり、約束通り、3日目によみがえってくださったことにより罪の贖いをなしてくださったイエス・キリストを真の神、あなたの救い主と信じ受け入れてください。

その時、あなたにも罪の赦しが与えられ、あなたは罪に支配された人生ではなく、神様に導かれた新しい人生を歩むことができるのです。

私たちは、あなたが信仰を持って救われることを、心から祈っています。





『あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。
わざわいの日が来ないうちに、
また「何の喜びもない」と
言う年月が近づく前に。』

伝道者の書12:1

◆八田西キリスト教会

〒599-8265

堺市中区 八田西町2-15-3

072-270-8250

<https://hattanishi.com>

牧師：土井義広

◆集会案内

- ・主日礼拝：日曜日 ①9:30～ ②11:00～
- ・教会学校：日曜日 11:00～
- ・聖書の学び：隔週水曜日 10:00～
(詳細はお問い合わせください)
- ・その他、各種イベントもあります

2020/04-2025/11

Copyright © 2013-2025 Hatta-Nishi Christ Church, All Rights Reserved.